

りーんりんりーんりん

りんりんりーん

すいしいおこゑは

すいむしよ」

にーさんおきよ

むしのこゑ

かしゃかしゃかしゃかしゃ

かーしゃかしゃ

さわいでなくのは

くつわむし」

みんなのないてる

そのなかで

はたるはひとりで

かとなしく

だまつてあかりを

ともしてゐる

懸賞考へ物

私は、この「婦人と子ども」を、高等小學四年の頃から非常に愛讀して居ます。このたび、同村に、同姓同名がありまして、其れに生れも私と同じ年(明治二十二年二月生)諸事差し支へますから、とさこ子を登喜子と改名いたしました。夫で改名披露

の爲、小さい方の御慰までに次の様な懸賞考へ物を出しました。

題

- (1) 十六を三分して 我國の中一國名
  - (2) 二十を三分して 我國の中一國名
  - (3) 九を二分して 我國の中一國名
  - (4) 十三を二分して 我國の中一國名
  - (5) 二十三を三分して 我國の中一國名
- ◎ 答は兄さんや、姉さんに書いて頂いても宜し。
- ◎ お答の中に、郵券四錢を添へて送つて下さい。
- ◎ 甘くお答の出来た方で、五、十と云ふ節に當つた方には、景品を差し上げます、御添附の四錢は、景品送附料に致す考へであります。
- ◎ 番號は到着順にします。
- ◎ 特に第壹番の方へ「ふみのかきふり一部」小野鷲

堂書、第五拾番の方へ「文章軌範一部全四冊」、第  
 百番の方へ「啓日本外史一部」、第百五拾番の方へ  
 「言海一部」

◎御通知のなき御方は、答が違つてるか、又は、  
 節番に當らなかつたのだと心得て下さい。

◎申込所 三河國西加茂郡筋生村字黒笹

近藤登喜子わて

◎解答紙 隨意

◎期限 七月五日限りとす

◎披露 八月發行の「婦人と子ども」紙上

以上 近藤登喜子



五月の二十八日は、地久節といつて、  
 皇后陛下のお生れあそばされため  
 でたい日なんです、ちよーど、こ  
 としのこの日に、我が海軍が敵の  
 一ルチック艦隊を全滅させたのは、  
 なんといふ、おめでたいことでせう